日刊工業新聞
THE NIKKAN KOGYO SHIMBUN
3月10日火曜日
2020年（令和2年）

全国から厳選された優良企業 日本のトップランナー企業10選

スカイサイエンス

事業を通じて社会に貢献

スカイサイエンスは1996年に創業した理化学機器の商社。大学や企業の研究機関など、「その道のスペシャリスト」と呼ばれる機関からの難易度の高い要望に対し一つひとつ地道に応えてきた。それが現在、汎用機器から計測、分析、医療、半導体関連、建築工事まで、多分野にわたってさまざまな業界との取引につながっている。

株式会社スカイサイエンス
寺西 宏悦 社長

指紋検出薬品を開発

同社の活動の中でも特にユニークなものとして取り上げられる一つに、兵庫県警察本部科学捜査研究所と兵庫県立大学とともに共同で開発した指紋検出薬品がある。

テレビや映画などで、事件や事故現場などで指紋を採取しているシーンはおなじみだろう。しかし、そのシーンでアルミニウムなどの白い粉末をパタパタとはけでたたいて採取している姿を思い浮かべるのは、少し時代遅れかもしれない。

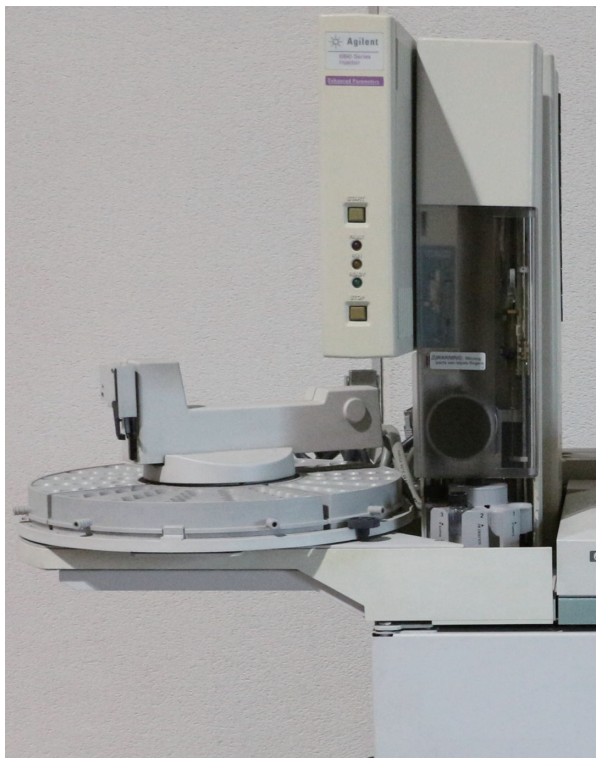
実際に現場で使われてきたこの採取法では、例えば背景に文字や絵などの色や図柄によって、せっかく浮かび上がってきた指紋の判別が不能なことも多かった。

また、検体にはけが接触することにより、DNA鑑定の妨げとなっていた。これらを克服するものとして約10年前に3者が共同開発したのが、シアノアクリレートと呼ばれる化合物を応用した新しい試薬だった。

世界で使われる試薬に

シアノアクリレートはもともと液体で、ほんの少しでも水分があるとその水分と結びついてポリマーに変化し固まる性質がある。この性質を利用してヒトの指紋に含まれる成分を検出しようと研究が進められ、開発された検出方法が日本ですでにシアノ法として世界に発表されていた。

共同開発した試薬は粉末で、これに熱をかけて昇華させた気体を指紋に吹きかけると、指紋の成分にそれが付く。そこにブルーの光を当てると指紋が黄色に光って見えるようになる。すでに国内全県で使われており、海外でも同社の子会社のルキアを通じて販売を本格化している。海外のテロで使われた爆発物からの犯人の指紋検出にも使われた実績がある。



中古品市場を開拓

同社は約6年前から理化学機器の中古品の取り扱いを始めている。これら理化学機器は分析精度が日進月歩で進む世界だが、それを利用する分野によっては最先端の精度まで必要としないところも増えている。例えば100㍍先の道路で車が走った振動で測定数値がぶれるほどの精度がすべての用途で求められるわけではない。同社はそこに注目。それまで中古品にほとんど目を向けてこなかった業界にあって、いち早く本格的に中古市場を開拓してきた。

今、その市場を一層てこ入れするために現在、兵庫県西宮市と加西市に分散している倉庫を、この3月末に兵庫県三木市吉川町に新設する倉庫（建屋約3300平方㍍・敷地約6600平方㍍）に拡大・統合する。そこはショールーム機能も併せ持ち、顧客の求めに応じて中古機械を紹介していくことにしている。寺西宏悦社長は「日々多数の問い合わせをいただいており、これらの需要に応えるためにも買い取りをより一層強化していきたい」と話す。

歯科医院対象にDNA検査の普及に力

ほかにも同社が今年、力を入れようとしている一つにDNA検査がある。DNA検査はここ数年でDNAの解析技術が急速に発展し、血液でなくても唾液を検査機関に送るだけで調べることができるようになっている。同社は歯科医院を使ってこの唾液によるDNA検査の普及に乗り出す。

この検査では例えば部位ごとのがんになる確率が分かることで、患者はその予防に注意を払うこともできる。歯周病や虫歯になりやすい体質かどうかなども分かるため、唾液の採取方法と合わせて歯科医院になじみやすいと考えている。検査に要する価格は歯科医院によって異なるが同社では5万円程度になると見ている。今春には兵庫県、大阪府の両域から拡販していく計画だ。

寺西社長は創業当初は理化学機器の卸売業だった同社を、小売りをメーンにした業態に変えてきた。現在、姫路白鷺ライオンズクラブの第一副会長も務めており、世間のニーズをいち早く捉え、公私ともにより一層社会貢献を強めていきたいと考えている。

岡本歯科ロコクリニック 池澤 院長（神戸市東灘区）

株式会社 スカイサイエンス
https://www.sky-go.com
〒651-1301 兵庫県神戸市北区藤原台北町1-1-4
TEL:078-984-4110 / FAX:078-984-4120